

県議会だより いしかわ

第26号

県立中央病院を拠点に ドクターヘリ運航開始

能登北部などから重症患者を高度医療機関に迅速に搬送する体制の充実は不可欠であり、県議会が定例会や委員会などで長年にわたって導入を訴えてきたドクターヘリの運航が、いよいよ9月24日から県立中央病院(金沢市)を基地病院に始まりました。

ドクターヘリは荒天時を除く365日体制で運航。消防機関からの要請を受けて県立中央病院の屋上ヘリポートから数分以内で飛び立つ体制が整い、救急医療の専門医や看護師が同乗し、いち早く救急現場に駆けつけます。救命救急の現場でドクターヘリが果たす役割は大きく、能登北部ではこれまで活用していた消防防災ヘリコプターよりも約30分早く現場に到着でき、患者の救命率向上や後遺症の軽減などが期待されています。

県議会では今後も、県民の皆様が安全・安心に生活できる医療体制が確保されるよう、県政の課題をチェックしていきます。



写真は患者引き継ぎ訓練の様子

今号の
トピックス

- Close Up
平成30年第4回定例会
- 2日間で68組が参加し、楽しいひととき
ふれあい親子県議会教室

22日間にわたり開催

本会議・予算委員会に24人が登壇 さまざまな課題で熱き論戦

9月6日から9月27日までの22日間、「平成30年第4回石川県議会定例会」を開催しました。会期中は24人の議員が登壇し、県政が抱える多岐にわたる課題について熱い議論を交わしました。

会期日程

- 9月 6日(木) 開会
- 11日(火) 代表質問
- 14日(金) 一般質問
- 19日(水) 一般質問
- 21日(金) 予算委員会
- 25日(火) 4 常任委員会
予算委員会(採決)
- 27日(木) 採決・閉会

質問者

- 代表質問 (9月11日)
- 中村 勲 (自由民主党) 石坂 修一 (未来石川)
- 一般質問 (9月14日)
- 和田内 幸三 (自由民主党) 富瀬 永 (未来石川)
増江 啓 (公明党) 八田 知子 (自由民主党)
紐野 義昭 (自由民主党) 藤井 義弘 (自由民主党)
- 一般質問 (9月19日)
- 本吉 浄与 (未来石川) 佐藤 正幸 (日本共産党)
安居 知世 (自由民主党) 太郎田 真理 (自由民主党)
車 幸弘 (自由民主党) 沖津 千万人 (自由民主党)
- 予算委員会 (9月21日)
- 向出 勉 (自由民主党) 吉田 修 (未来石川)
盛本 芳久 (未来石川) 平蔵 豊志 (自由民主党)
川 裕一郎 (WILL石川) 橋本 崇史 (自由民主党)
石田 忠夫 (自由民主党) 横山 隆也 (自由民主党)
下沢 佳充 (自由民主党) 焼田 宏明 (自由民主党)



議会の開会、閉会は議長が宣告します。

コラム

議長と副議長の役割

議長と副議長は、議員の中から選挙で選ばれます。議長は、対外的に県議会を代表するとともに、本会議の議事を整理して、会議が円滑に運営されるように努め、議場の秩序を保ちます。また、議会のさまざまな事務を監督し、処理することも議長の仕事です。

副議長は、議長が出張や病気などで職務を行えない時などに議長の職務を担います。

県議会は、条例や予算等を議決するという重要な権限を持っており、公正な議事進行を行う議長、副議長の役割は非常に大きいと言えます。



議長席は傍聴席から見て正面前方にあり、議場全体を見渡せます

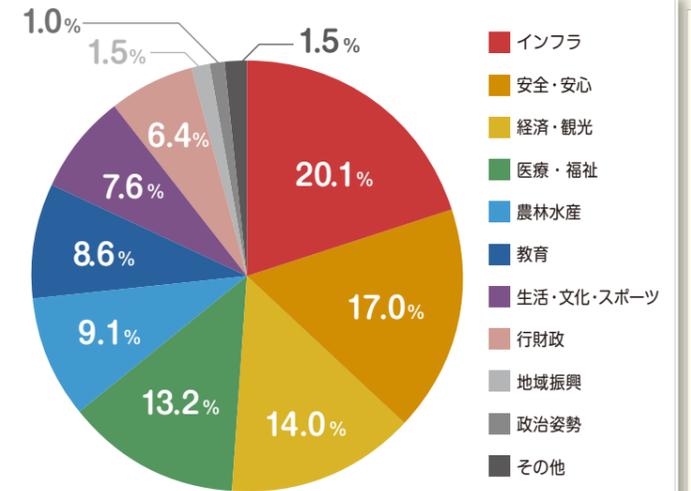
データで見る本会議・予算委員会

今夏の自然災害を受けて、 災害・復旧に関する質問が多く

平成30年第4回定例会では計394問の質問があり、分類すると右の円グラフの結果となりました。

最も多かったインフラ分野では「豪雨による道路・河川の被害状況」や「河川改修事業の進捗」、続く安全・安心分野では「避難情報のあり方」や「避難場所等の立地」、3番目の経済・観光分野では「海外誘客」や「AI・IoTの導入」などの質問がありました。

7月の豪雨災害、8月末の能登地域の大雨など度重なる自然災害を受け、災害時の健康被害対策や農作物の被害状況、小中学生への防災教育、災害廃棄物への対応など、あらゆる分野で防災対策や県内被災地の復旧に関する質問がなされました。



Pick Up

集中豪雨などの災害対策について

- Q** 最近の豪雨は短時間で集中的に多量の雨が降り、大変甚大な被害をもたらすものとなっている。県でも事前に対策を立てておく必要があると思うが、集中豪雨の発生に備えてどのように取り組んでいるのか。また、発生時にはどのような体制で臨んでいくのか。
- A** 甚大な被害が予想される河川について、堤防整備や河川の拡幅などの抜本的な対策を着実に進めるとともに、即効性のある堆積土砂の除去にも積極的に取り組んでいる。また、豪雨の発生時にはインターネットにより水位、雨量を情報提供するとともに、避難勧告の目安となる氾濫危険水位に到達する際には各市町長へ河川の状況を直接電話するホットラインを実施している。

障害者雇用の水増しについて

- Q** 県の障害者雇用の水増しの原因究明と今後の対策をしっかりと検証すべきと考える。また、県での障害者雇用に向けた決意を聞く。
- A** 石川県の障害者雇用率の不適切な算定については、厚生労働省のガイドラインの認識不足によるものだが、障害者雇用を率先して推進する立場にある県で不適切な算定があったことは極めて遺憾である。現在、国からの再点検の指示を受け、全職員を対象に調査を行っており、その結果を踏まえて今後は適正な対応に努め、県民の皆様の信頼の回復に努めてまいりたい。

東京オリンピック聖火リレーについて

- Q** 2020年東京オリンピックの聖火リレーが、県内では6月1日と2日に行われる。石川の特徴を打ち出せるルートを考えてほしいが、聖火リレーのルートにはどのような思いを描いているか。
- A** 聖火リレーのルート選定については、県で今後設置する実行委員会で検討し、年内には東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会に提案することとしており、来年の夏頃、組織委員会がIOCの了解を得て正式ルートを発表する予定と聞いている。聖火リレーは競技会場のない石川県の県民にとっては東京2020大会に参加できる大変重要なイベントであると考えており、各市町のご協力も得ながら、県内19市町全てを回るコースとなることを望ましいと考えている。

県議会定例会・委員会での質問内容は、
県議会ホームページや議会図書室でご覧いただけます。

※県議会ホームページは「石川県議会」と検索してください。スマートフォンやタブレット型端末でもご利用いただけます。



ふれあい 親子県議会教室

2日間で68組が参加し、楽しいひととき

夏休みの恒例行事となった「ふれあい親子県議会教室」が8月21・22日に開かれ、68組の小学生と保護者が参加しました。県議会内を見て回ったり、教室に合わせて用意した特製名刺を手に議員にあいさつしたり、疑問に思っていることを直接聞いたりするなど、盛りだくさんの内容で、県議会の役割や議員の仕事などを楽しみながら学びました。



参加した子どもたちと議場で記念撮影



疑問に思うことを
直接、議員に聞きました

議員と
交流



名刺交換を通して、
議員と触れ合いました

教室では
こんなことを
実施しました

ふれあい
トーク



参加した親子に
話を聞きました

今井さん親子
中能登町在住



親

子どもには、社会にいろいろな職業があることを知ってほしいと考えています。ただ、普段の生活で議員の仕事に触れることはあまり多くなく、ふれあい親子県議会教室は貴重な機会だと思い、参加しました。

子

参加するまでは、議員の皆さんは堅い人が多いのかなと想像していました。でも、実際にお話を聞いたり、名刺交換をしたりすると、とても優しい人ばかりで県議会について親しみを感じることができました。

議場
見学



議場内を見学！
議長席にも座りました

議長
副議長と
話そう



作野議長、焼田副議長の
部屋を訪問

県議会の活動を伝える広報紙

県議会
だより
第26号

編集・発行 / 石川県議会 (年4回発行)
平成30年11月13日発行

県議会の傍聴や見学ができます！

●お問い合わせ 石川県議会事務局企画調査課

〒920-8580 金沢市鞍月1丁目1番地
TEL 076(225)1036 FAX 076(225)1037

石川県議会ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/gikai/>

石川県議会

検索

県議会に対する
ご意見・ご提言を
お寄せください。

県議会では、県民の声を取り入れた運営に力を注いでいます。ご意見やご提言は、下記のE-mailからもお送りいただけます。ぜひ皆さまの思いを、県議会にお伝え願います。



メールアドレス

gikai@pref.ishikawa.lg.jp